



「えがおの森」で集めた綺麗な色の葉を組み合わせてオリジナル写真立てを作ります。私たちはゲームや作品作りを決められた時間内に行いながら「えがおの森」の自然を学んだり楽しんだりしています。



「えがおの森」委員会では、「えがおの森」にはいくつかの広場があるので、みんなに広場の名前の募集を行い名前をつけました。日だまりの広場やワクドキ坂道など楽しい名前がいっぱいです。笑顔の広場は笑顔でたくさんのお話を語ってほしいと願いを込めて名づけました。その他にも、しあわせの広場、リラクスの広場、楽しみ分かれ道などがあります。また看板の絵も全校で考え、委員会で制作しました。「えがおの森」の入口には大きな看板、広場には小さな看板が設置されました。



岐阜県可児市立 旭小学校

発表者: 森貴雅、水野佑哉
先生: 吉田尚子

私たち旭小学校には「えがおの森」という学習支援林があります。この森は北姫財産区のご好意で学校がお借りしているものです。私たちは色々な教科の授業や児童会活動などでその森を利用し、多くのことを学んでいます。

「えがおの森」を活用した児童会行事は年2回あります。5月は縦割り集団で自然の中でふれあう活動を行う「えがおの森」探検隊、11月は色々なゲームや作品作りを行いながらオリエンテーションを行う「わくわくどきどきえがおワールド」を行います。



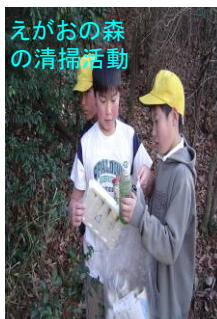
松ぼっくり投げでは、遠くまで投げることで点数が入ります。周りに木の枝があって、すぐひつかかってしまうので投げる方向や投げ方を考えなくてはなりません。



この他にもドングリバランス、木の葉みつけ、木の枝さしなど、ゲームが10種類以上あります。松ぼっくり工作では、松ぼっくりを使ってデザインを工夫した楽器を作ります。ドングリを入れて綺麗な音になるように作ります。



この行事には保護者や地域の「きらきらサポーター」の方も参加して、私たちが安全に活動できるように整備を行ってくれます。「えがおの森」の活動は、学校・地域・家庭など多くの人達の協力によって成り立っています。



「えがおの森」を綺麗に使うためにごみ拾いなどの清掃活動も行い、昨年はかぶれるウルシの木や危険箇所を知らせる看板を作ったり、「ゴミを捨てないでください」などの呼びかけの看板を製作しました。「えがおの森」委員会のみんなは、休日に友達に行っても安全な森にしたい。お年寄りから子供まで安らげる森にしたいと願いを込めて活動をしています。自然を活用した遊びを考えたり積極的に「えがおの森」のゴミを拾うなどの姿も見られるようになってきました。



えがおの森委員会の願い

☆安全に遊べる森作り
☆誰でも安らぐことのできる森作り



秋見つけ(1年生)



理科の授業(4年生)

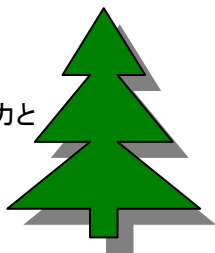
色々な教科でも「えがおの森」を活用しています。
1年生の生活科では「秋みつけ」
4年生は理科の授業で「冬の虫みつけ」
などに活用しています。

森林についての学習(5年生)

- ☆木は空気をきれいにする。
- ☆たくさんの水を蓄える。
- ☆育てるために多くの人の努力と
手間、年月がかかる。



木の大切さを学ぶ



私たち5年生の社会の時間に、森林について学習する
機会がありました。
その中で木は空気を綺麗にしていることや、たくさんの
水を蓄えていることなどを始めて知りました。
更に1本の木を育てるために多くの人の努力と手間が
かかっていることや、とても長い年月がかかっているこ
とを学びました。
この学習を終えて木の大切さを改めて知りました。



旭小学校には「えがおの森」という財産があります。
森林などの自然の大切さを学ぶために、この「えがおの
森」をいつまでも守っていけるよう力を合わせて頑張っ
ていきます。



図工「ひみつのすみか」
(4年生)



図工の授業では「えがおの森」の自然を利用した作品
「えがおの森の仲間たち」もその1例です。

「えがおの森の仲間たち」(クラブ)



苗木のホームステイ



「えがおの森」は、私たちの大切な学習の場となっています。
昨年度岐阜県で開催された全国植樹祭に参加するために
苗木のホームステイに取り組みました。1人1鉢ずつ苗木を
預かり大切に育て緑の葉をたくさんつけた元気な苗木を持
っていけるように苗木の世話を一生懸命行いました。
どの苗木も枯れることなく育てることができました。



大切に育てた苗木



えがおの森で遊び、
えがおの森に学ぶ



わたしたちの学校林
楽しいなあ。自然や人との出会い。

大阪府河南町立 河内小学校

発表者:金澤美咲、宮城奈苗
先生:和田朋子



私たちの学校は、大阪府と奈良県との県境にある葛城山のふもとにある創立134年の学校です。児童数は269人です。近くに西行法師も歌に詠んだ「弘川寺」を始め、雑木林や田園風景など、身近な自然にふれあえる里山があり、自然環境に恵まれた校区です。



「弘川寺 歴史と文化の森」



河内の山

私たちの学校林は里山の保全林として指定されている「弘川寺歴史と文化の森」の中にあります。



5年生 身近な自然を感じよう
つながりについて考えよう(5月)

5月に環境カウンセラーの「ポッキー」こと新田さんに出会い、環境学習の第一歩が始まりました。学校の中の身近な自然を感じる体験をします。



竹炭作り(1月)

1月は竹炭作りをします。竹を切って竹割りという道具で竹を8等分にくずします。綺麗に割れるのでびっくりしました。竹炭窯に竹を入れて蓋をし、その上に土をかぶせて焼きます。



見晴台づくり



ベンチづくり

11月と1月は伐った間伐材を使って自分たちの作りたいものを作ります。3年目は見晴台と道しるべを作りました。4年目はベンチを作りました。ベンチ作りは大変でしたが班の友達と一緒に考えた設計図どおりにできあがった時はとても嬉しかったです。

学校林活動

- ・3年生・・・「ポッキーとの出会い」
森のオリエンテーション(5月)
森のオリエンタリング(6月)
しいたけ作り(3月)
- ・4年生・・・「山の先生との出会い」
間伐・皮むき(6月)
遊具作り(11月・1月)
- ・5年生・・・下草かり
田植え体験(6月・11月)
- ・6年生・・・卒業記念植樹(3月)
- サポート
- ・NPO法人「里山倶楽部」
- ・ささゆりの会



5年生 森の宝物を見つけよう
森の顔を作ろう(6月)

6月に弘川寺を出発して自然の宝物を探しながら学校林まで歩きます。その宝物で「森の顔づくり」をします。1人1人違う顔が出来上がってとても面白いです。



間伐・皮むき体験

4年生は6月に間伐をします。学校林の中にある成長の悪い木から伐っていきます。ノコギリで伐り込みを入れてから木を伐ります。木にロープをかけてみんなで引っ張ります。木が倒れる時の音は大きくて迫力があります。その後道具を使って木の皮をむきます。皮を引っ張るとスーッと剥けて、木の肌を触るとツルツルしています。



つつつして気持ちいい



5年目は遊具を作りました。



平成14年「茶の木原学校林」誕生



学校から弘川寺を通り谷筋の急な坂道を登ると20分程で「茶の木原学校林」に着きます。「茶の木原学校林」は6年前に環境体験学習を進めていた6年生の願いから地元のNPO法人「里山倶楽部」の方々と地元の方が中心となって作られました。はじめは竹やスギ、ヒノキがうっそうと生えていて人が入っていけない状態だったそうです。6年生も掘り起こしたスギの根っこや間伐した木を移動させたりして一緒に作り、3月に卒業記念として学校林に1人1本ずつケヤキを植えました。



5年生は今年から学校林のそばの田んぼで米作りをしています。山の綺麗な水でできたお米なのできっとおいしいと思います。里山の保全をしている山の先生から聞き取り学習をしたりして環境保全について学習します。



6年生は「弘川寺歴史と文化の森」の中にサクラやカエデを植樹しています。はじめて植えたケヤキはもう3mほどに成長しています。この森が千年も続くようお願い自分の名前のプレートを支柱にくくりつけ山を降りてきます。

地域の中でボランティア活動

- ・たてわり班活動「クリーンキャンペーン」
- ・緑の少年団
- ・どんぐり貯金活動・植樹
- ・緑の募金活動
- ・桜とりすの森
- ・第56回大阪府植樹祭



私たちは1学期に1回、学校や地域のクリーンキャンペーンに取り組んでいます。また、どんぐり貯金をして苗を植樹したりしています。緑の羽根募金にも取り組んでいます。

緑の少年団



さくらまつり 植樹



地域では「桜とりすの森」づくりにボランティアとして参加し、下草刈りをしたり、木に巻きついたツルをとったり、木を植えたりしています。



学校林での体験は森や人とのふれあいです。そして教室ではわからなかったことをたくさん学びました。最後に4年前に3・4年生が作り、山の先生に贈った「河内の山」の曲を聴いていただいて私たちの発表を終わりたいと思います。河内小学校のみんなの気持ちが込められた歌です。

河内の山

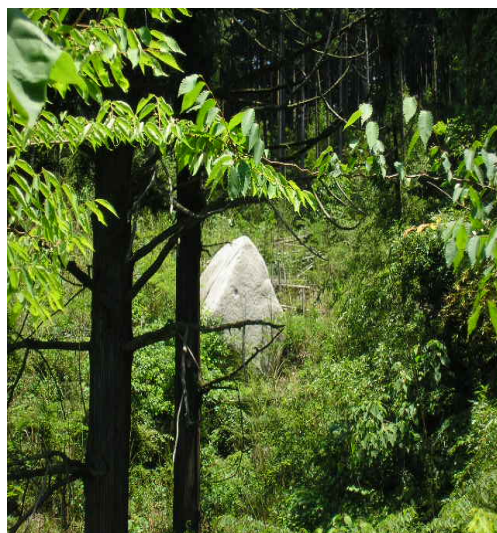
作詞 河内小学校
3・4年生
作曲 河内小学校
教諭 小林 美紀

鳥がうたう 緑いっぱい 河内の山の中
川に蜚 木にはかぶと くわがた虫
河内の山 大きな岩 ほくらの森 いつまでも
光っていて きれいでいて 世界で一つだけの山

みんなで広めよう 山が こんな すてきなことを
みんなで守ろうよ 鳥や 虫や きれいな川を
ぼくたちが わたしたちが

くぬぎ どんぐり かしの木 竹 千年の森には
いろんな木や いろんなものが生きている
河内の山 大きな岩 ほくらの森 いつまでも
山をまもる みんなの 笑顔がいっぱいあるから

みんなで広めよう 山が こんな すてきなことを
みんなで守ろうよ 鳥や 虫や きれいな川を
ぼくたちが わたしたちが





鳥取県米子市立 成美小学校

発表者: 矢野未侑、権田芽衣

先生: 田中芳枝

私たちの成美小学校の校地内には学校林「みんなの森」があります。
理科の学習で出かけたり、休憩時間に遊んだりしています。



これはカブトムシの幼虫を「みんなの森」に埋めているところです。
幼虫は地域の方の畑で生まれたものです。看板も作って立てました。



これはシイタケの植菌をしているところです。
地域の方から植え方を教
わって菌を植え、「みんな
の森」に運びました。



4年生の総合的な学習の時に「みんなの森」の
木に名れをつける計画をしました。
林業家の方に木の名前や特徴を聞いて名れを
つけました。特徴や名前を書いて工夫しました。



これは巣箱や給餌台
作りをしているところ
です。
「みんなの森」や学
校の周りに取り付け
ます。



1年後にホダ木の組み換えを
しているところです。
糸田さんに手伝ってもらい、
綺麗に組み換えができました。



これはフラワーロードに
するプランターに花を植
えているところです。
フラワーロードとは全校
児童がプランターに花を
植え学校前の通学路に
設置して通学路を美しく
飾っています。



12月にはこんな立派なシイタ
ケができました。とっても肉厚
で美味しかったです。
みんなが家に持って帰って家
族で食べ、とても喜ばれました。
私はオムライスの上にソースの
ようにしてかけ食べました。



これは学校の前の加茂川です。
加茂川探検では校区を流れる加
茂川の生き物や水質などを調べ
ました。
虫や魚がたくさんいました。



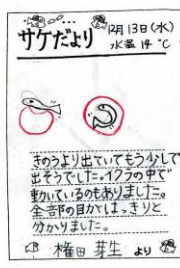
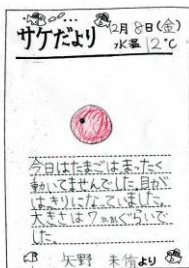
ドンコを見つけました。
しばらく学校で飼いました。
急流の水も持って帰りました。
ペットボトルを使って流れの速さを調
べました。
一番速いところでは10秒間で150cm
流れました。



これは源流です。鳥根県と鳥取県の境目にあって水がとても綺麗です。



これはサケの卵をもらった時のことです。
私たちは加茂川探検でお世話になった漁協の方から
サケの卵をもらいました。
観察したり学校のホームページにサケだよりや写真を
載せたりしました。



これはサケの卵をもらった日のことです。
卵がまったく動きませんでした。
目がはっきりなっていて大きさは7mmくらいでした。

これは5日目くらいのことです。
動いているものもありました。
全部の目がはっきりとわかりました。



これは1週間くらいした時のことです。
サケが3匹生まれました。
大きさが1.5cmくらいになっていました。



これは1ヶ月くらいたった時のことです。
エサになれてすぐ食べていました。
大きさは2、3cmくらいでサケにある
サーモアークという模様が目立っていました。



これは2ヶ月くらいした時のことです。
最初は7mmくらいだったのに4cmくらい
になっていました。
エサやりや水換えをして大切に育てて3月
に加茂川へ放しました。
サケを育てるという貴重な体験ができて
良かったです。



これは緑の少年団結団式です。
成美小学校では1年生から6年生まで全校
児童が緑の少年団の団員になっています。
毎年5月に「みんなの森」で結団式をします。
夏休みには緑の少年団交流会に参加して
います。



これは成美小の「スーパー豊作田」です。5月に田植えをし、9月には
餅つきをします。たくさんの方が参加していてとても美味しいです。



これは植樹祭の行進です。毎年鳥取県の植樹祭
に参加したり、緑の羽根の街頭募金に協力したり
しています。



私たちは「みんなの森」や加茂川や成実スーパー豊作田などで活動し、
今では学校でビオトープ作りに取り組んでいます。



私たちはたくさんの自然に色々なことを学んできました。
自然には命があることや、命を育てていくことを学びました。
これからも自然を大切にしていきたいです。